

# 会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和3年2月19日

名称	令和2年度 第1回保健福祉審議会
日時	令和3年2月16日（火） 午後2時00分～午後4時06分
場所	鹿沼市民情報センター3階会議室
出席者	別紙のとおり 傍聴者0人
内容及び結果等	1 開会
	2 あいさつ（小林部長）
	3 委員紹介
	4 会長及び副会長の選出について
	5 会長あいさつ（鈴木会長）
	6 議事
	（1）保健福祉部主要事業進捗状況及びこども未来部主要事業進捗状況について
	■別紙資料1と資料2により各課長説明し、その後質疑応答。
	藤田委員：市民の心の健康について質問したい。コロナの影響で閉塞感やストレスが高まり、コロナの関連自殺、特に女性の自殺者が増えているとの全国的な情報があるが、鹿沼市はどのような状況か？またコロナの影響で小中学生が不登校になったり、不登校の相談は増えているか？
	健康課長：2020年の国の自殺者数は速報値で20,919人。2019年確定値から750人3.7%増、特に女性が増え過去5年で最多となっている。鹿沼市では令和2年の1月から12月の間に15人の自殺者がおられるが、男性が10人、女性が5人。鹿沼市の特性としては男性が多い。原因は全ての原因が計上されるわけではないが、分かっている中では健康問題が多い。現状としては鹿沼市では自殺者数は増えていない。全国的な傾向は鹿沼市では見られない。
こども総合サポートセンター長：不登校については教育委員会が管轄なのでお答えできないのでご了解願いたい。教育相談の中の不登校相談件数はH30年度64件、H31年度87件、今年度は資料を持ち合わせていないが、長期休校の影響で行き渋りがあると聞いているので増加傾向かと思われる。	
会長：地域の中で、コロナに感染してしまったお子さんの様子をみている。子供たちの学校外の活動はとても和やかに過ごしていて、学校の教育と指導の賜物と感じている。事務局からの回答で藤田委員大丈夫か？	
藤田委員：大丈夫である。	
鈴木（敏）委員：国会でも議論しているが、コロナ禍で生活保護の要件の見直し、基準緩和したりしている状況なのか？また、生活保護費は減っているというが、今後のコロナ禍の経済悪化もあり増加していくのだろうか。そのあたりをお聞きしたい。	

	<p>厚生課長：生活保護の要件については新聞報道では親戚等への扶養照会がネックとなり申請がしにくいのでは？ということで国が見直しを検討しているという内容。まだ国からの通達等は来ていないため、今後の国の動向を注視しているところ。生活保護世帯は若干減っている。生活保護費の減少は医療扶助費の 6000 万減がほとんど。入院・外来ともに減っている。生活保護世帯が増えていないのは、県社協で実施し、市の社協が窓口となっている生活福祉資金の特例貸付があるため、まずはそちらで受け止めてもらっている状況と考えている。現在、緊急小口資金が 495 件、総合支援資金が 311 件で 2 つの制度合わせて 12 月末現在で 2 億 5 千万円の貸し付けを行っている。この制度が生活保護まで来ない防波堤になっている。こちらの制度が R3.3 月までなので、この制度が終了後に生活保護の申請が増えていく可能性はあると考えている。</p>
	<p>鈴木（敏）委員：これからも運用の方をよろしくお願ひしたい。</p>
	<p>鈴木（敏）委員：保育園の一時保育について。一時保育を希望するのは事情があつてのこと。母親が切迫流産で入院が必要な中で、一時保育先を自分で探さなくてはならないというのは？</p>
	<p>保育課長：一時預かりは、こじか保育園が拠点となり、公立保育園はどこでもやっている事業。基本的には空いている保育園を市が親御さんに紹介して、親御さんの方で保育園に連絡をしてもらい預かり先を決めるという流れになっている。ただし今回のように急を要する場合は、事情をよく聞いたうえで、場合によっては保育園を紹介して、お子さんの状態を聞いてもらって、決めていくという方法もあるのではないかと思う。</p>
	<p>鈴木（敏）委員：少子高齢化で人口減っているなか、鹿沼市は子育てに優しいまちづくりを目指しているので、出来るだけ若い人たちへの子育て支援のサポートをよろしくお願ひしたい。</p>
	<p>星野委員：6 か所の包括支援センターの相談業務のキャパ的なものはどういう状況か？ いっぱいいっぱいか？余裕はあるか？</p>
	<p>高齢福祉課長：対象の高齢者 6,000 人を超えない基準の範囲で担当地域の配置している。偏りのあるところは見直しを行っている。相談業務に地域でばらつきはあるが、どこかの包括支援センターが極端に負担を強いられているということはない。</p>
	<p>星野委員：市の要介護認定の訪問調査を土日以外にできないかとの相談が多い。土日に訪問調査を実施することはできないか？</p>
	<p>介護保険課長：現時点では厳しいが、今後は他市の状況も踏まえながら検討していきたい。</p>
	<p>会長：他に質問はあるか？なければ質問をここで切らせていただく。今年度の保健福祉部及び子ども未来部の主要事業進捗状況についてはこのまま進めるということでよろしいか？（委員：異議なし）質問を踏まえながら、このまま進めていっていただくということで執行部にお願ひしたい。私の方の司会をここで下ろさせて頂く。</p>

	<p>7 報告事項</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に係る支援等について …資料3により厚生課長、子育て支援課長説明</p> <p>(2) 第4期地域福祉計画策定に関する市民意識調査について …資料4により厚生課長説明</p> <p>(3) 第5期かぬま障がい者計画等について…資料5により障がい福祉課長説明</p> <p>(4) 第8期いきいきかぬま長寿計画について…資料6により高齢福祉課長説明</p> <p>(5) 子ども・子育て支援事業計画（第2期計画）について …資料7により子育て支援課長説明</p> <p>(1)～(5)まで質疑無し</p> <p>8 その他</p> <p>大出：その他のことで委員から意見はあるか？</p> <p>藤田委員：新型コロナウイルスのワクチン接種体制について聞きたい。政府の方で接種情報を一元管理するためにマイナンバーを活用した新たなシステムを検討する動きがある。鹿沼市のワクチン接種の一元管理システムの接種体制はどんな状況かをお伺いしたい。</p> <p>健康課長：国の方からマイナンバーを活用の詳細についてはまだ来ていない。ワクチンを効率よくお届けするための新しいシステムのV-SYSについて概要は来ているが、現物は来ておらず、今後説明会が予定されている。それに加えてマイナンバーの話も来ているが、今後どうなるかは分からない。市としては住基と連動している従来の接種管理システムと紐づけして一元管理に近くなるようにしていきたい。</p> <p>藤田委員：市民としては、システムの不具合によって接種が遅れてしまうことを一番心配しているので、うまく調整をとって頂くようお願いしたい。</p> <p>(その他について他に意見なし)</p> <p>事務局：令和3年度保健福祉審議会開催予定日について説明</p> <p>9 閉会</p>
配布資料	<p>次第、名簿、<b>資料1</b> 令和2年度保健福祉部主要事業進捗状況、<b>資料2</b> 令和2年度子ども未来部主要事業進捗状況、<b>資料3</b> 新型コロナウイルス感染症に係る支援等について、<b>資料4</b> 第4期地域福祉計画策定に関する市民意識調査について、<b>資料5</b> 第5期かぬま障がい者計画等について、<b>資料6</b> 第8期いきいきかぬま長寿計画について、<b>資料7</b> 子ども・子育て支援事業計画（第2期計画）について、<b>別紙</b> 令和3年度 保健福祉審議会開催予定</p>
次回予定	令和3年7月15日
記録者	大出（厚生課地域福祉係）
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況</p> <p>(該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>	
<b>公開</b>	・ 非公開